



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

吉敷

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2018

5

No. 746



「おかえり〜! 気をつけて帰るんよっ!」
地域ぐるみで見守られ 新1年生初めての下校

CONTENTS

インフォメーション..... 2

レポート..... 4

【シリーズ偉人①】

初期村政の立役者
多々良半見と野村致知..... 5

今月の吉敷人..... 5

【トピックス】

子どもたちは地域の宝
「見守り」の輪を広げていきませんか..... 6

【よしき四方山ばなし①】

凌雲寺炎上..... 6

【シリーズ地名①】

町名の由来(その二)..... 7

【吉敷の福祉・健康】

稲葉あじさいの会..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】14,683 (前月比 -65) 【世帯数】6,143 (前月比 +2)

平成30年4月1日現在

インフォメーション

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関する事など、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて、気軽にお越しください。

【とき】5月9日(水)13時30分～14時30分
(受付時間)

【場所】地域交流センター和室

【申込】不要

【準備】母子健康手帳

【主催・問い合わせ】市子育て保健課

☎083-9221-7085



担当の松井保健師

総会・代議員会

平成30年度の吉敷地区地域づくり協議会、吉敷自治会、吉敷地区社会福祉協議会の総会・代議員会を開催します。

地域住民の方も傍聴できますので、お気軽にお越しください。

会場や資料準備のため、事前にお申し込みください。

【とき】5月12日(土)13時30分

【場所】地域交流センター講堂

【申込・問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-9221-3344

子育て講座(ベビーマッサージ&カフェ)

ベビーマッサージは、肌と肌で触れ合う親子のスキンシップです。

カフェでは、お茶を飲みながら子育ての悩みを話しませんか。

【とき】5月15日(火)10時～11時30分

【場所】地域交流センター和室

【講師】澤野佑希氏(佐畑)

【対象】寝返り前の赤ちゃんと保護者 15組
(先着順)

【準備】バスタオル、オムツ、飲み物

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-9221-3915

春の花壇講座

春・夏の色鮮やかな草花で、ご自宅の庭やベランダを彩りませんか。

初心者でも安心。花壇づくりの基本を分かりやすく学べます。

【とき】5月17日(木)19時～20時

【場所】地域交流センター視聴覚室

【講師】吹上笑美氏(株)多々良造園

【対象】花壇づくりに興味のある方 20名
(先着順)

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-9221-3915



講師 吹上氏

「吉敷さんぽ」を片手に ふるさとの歴史を学ぼう

吉敷には、干害に備えて溜池や水路を作った人々に感謝し、彼等の功績を称える石碑を建てた歴史があります。これは誇りつよい文化的な特色です。

今回は、野口破碑、矢田義海碑等から、先人達の功績に思いを馳せます。

【とき】5月19日(土)9時30分～11時30分

【場所】赤田神社集合

【講師】宮田尚氏(佐畑)、小田秀昭氏(上東)

【準備】動きやすい服装

【申込締切】5月16日(水)

【申込・問い合わせ】文化振興協議会

☎083-9221-3344

子ども会東風園ふれあいウォーク

今年も一緒に往復約16kmの道のりを歩き、世代を超えた交流を楽しみましょう！

【とき】5月20日(日)8時集合15時頃まで

【場所】赤田神社集合

※地蔵峠に簡易トイレを設置

【準備】ウォーキングに適した服装、弁当、飲み物、おやつ等

【申込締切】5月16日(水)

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-9221-3915



去年の様子

法定外公共物等整備事業

山口市では、里道や水路など法定外公共物の補修・機能向上・浸透等を行う地元関係者に対して、経費の全部または一部を補助する事業を実施しています。

平成30年度事業の次募集にあたり、条件等もありますので、まずは地域交流センターにご相談のうえ、期限までに申し込んでください。

事業は、予算枠や緊急度、安全確保などを検討して決定します。申し込み前に着工されたものは対象なりません。

【申込期限】6月22日(金)

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-9221-3915

反射鏡設置等事業

地域づくり協議会では、交通事故防止のため、反射鏡の新設・補修、ポールや反射材などの交通安全施設の設置等を実施しようとする町内会等に対して、経費の全部または一部を補助する事業を実施しています。

平成30年度事業の次募集にあたり、条件等もありますので、まずは町内会等を通じて地域づくり協議会にご相談のうえ、期限までに申し込んでください。

事業は、予算枠や緊急度、安全確保などを検討して決定します。申し込み前に着工されたものは対象なりません。

【申込期限】6月22日(金)

【問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-9221-3344

つどいの広場「楽楽楽」講座

「ミニブーケ作り」

造花を使って可愛いミニブーケを作りませんか。お部屋のちょっとしたスペースにも飾れますよ。

とき 5月22日(火)10時～11時30分

場所 地域交流センター 講座室

講師 高橋操氏

対象 未就園児と保護者10組(先着順)

託児 有(要申込み)

参加費 一組500円(託児代込み)

申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035

男性料理教室

料理上手な方も初心者の方も、得意料理を増やしてみませんか。

とき 5月25日(金)10時～12時

場所 地域交流センター 調理実習室

講師 食生活改善推進員

対象 男性の方16名(先着順)

参加費 300円

準備 エプロン、三角巾

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-3915



昨年の様子

ひよっこくらぶ

吉敷幼稚園では、未就園の3歳児のお子様を対象に、来園された親子と在園児とがふれ合う遊びの場を、左記の日程で設けています。みんなで楽しく遊びましょう！

申込書は、吉敷幼稚園および吉敷地域交流センターにあります。

回数 年間7回

時間 10時～11時30分

対象 平成26年4月から平成27年3月までに生まれた未就園児

参加費 年間300円程度

(お子様の保険料、名札代として)

申込・問い合わせ 吉敷幼稚園

☎083-925-2279

ひよっこくらぶ 年間予定

1回目	5月17日(木)
2回目	6月14日(木)
3回目	7月 5日(木)
4回目	10月11日(木)
5回目	11月15日(木)
6回目	12月10日(月)
7回目	1月24日(木)



ひよっこくらぶの様子

親子リトミック教室

月に一度、ピアノのリズムに合わせて、親子で一緒に楽しくレッスンしませんか！

とき 毎月第3月曜日10時～11時

場所 地域交流センター 講座室

対象 1歳から4歳までの未就園児と保護者

定員 20組前後

会費 年6,000円(体験のみ500円)

準備 お子様の飲み物、着替え等

問い合わせ 榎部 真理

☎090-1338-8546

Primavera(プリマヴェーラ)

女性のコーラス仲間を募集しています。一緒に眠っている新しい自分を発見しませんか！見学だけでも大歓迎。指導は原美喜先生です。

とき ①第1月曜日13時～16時

②第2・4土曜日10時～12時

③第3金曜日19時30分～22時

場所 ①②地域交流センター 講座室

③地域交流センター 視聴覚室

会費 月2,000円

問い合わせ 上村 豊子

☎090-7548-4476



空手道 錬心会

松浦館流の伝統派空手です。明るく元気に稽古をしませんか！

とき ①毎週木曜日17時30分～20時

②毎週土曜日19時～21時

③毎週日曜日17時～19時

場所 ①地域交流センター 講座室

②鴻南中学校体育館

③良城小学校体育館

会費 月1,500円

問い合わせ 渡井 正夫

☎090-4572-2254



地域づくり協議会
自治会
地区社協

総会・代議員会

とき 平成30年
5月12日(土)13:30～

場所 地域交流センター 講堂

申込 地域づくり協議会
☎083-922-3344

※地域住民の方も傍聴できます。

レポ。ト

ギリギリ桜に間に合った

4月4日(木)、「吉敷川ウオーク & お花見ランチ」を開催しました。

吉敷川ウオークでは、地域交流センターを出発し、吉敷川沿いを古四ノ宮へ向かって歩き、休憩をはさみながら、維新公園まで歩きました。今年は、例年より、桜の開花が早かったのですが、道沿いには綺麗な桜がいっぱい。ギリギリお花見ができました。



維新公園に到着すると、ゆっくりとお花見ランチ。天気も良く、ボカボカ陽気の下で、ランチタイムを楽しみました。たくさん歩いて腹ペコだったのか、みんな口いっぱいにお弁当をほうばっていましたよ！



入学・入園おめでとう！

友達100人できるかな♪

今年度は、4月9日(月)には鴻南中学校の、4月10日(火)には良城小学校の入学式が行われました。

葉桜のもとで、新しい制服を着て、少し大人っぽくなった鴻南中学生たちや、ピカピカのランドセルを背負った新一年生の良城小児童が元気いっぱい入学しました。
新たな生活のスタート。良き友達もたくさんできたらいいですね！



また、4月4日(水)にはおおとり保育園の、4月11日(水)には吉敷幼稚園の入園式が行われました。

まだ小さい子どもたちですが、キラキラした笑顔で嬉しそうに入園していましたよ。

子どもたちは地域の宝。地域ぐるみで子どもたちを見守りながら成長を楽しみにしています。



入学・入園者数

鴻南中学校	250名
良城小学校	147名
吉敷幼稚園	19名
おおとり保育園	26名

第47回吉敷地区大運動会中止

4月15日(日)に開催を予定していた運動会ですが、前日の天候不良による運動場の状況を考慮し、やむなく中止となりました。
関係者の皆様、準備など本当にお疲れ様でした。

センター職員離任のごあいさつ

この度の市人事異動において、2名の地域交流センター職員が離任しました。なお、着任した職員は、「今月の吉敷人(P5)」で紹介します。

上野 浩和(地域交流センター所長から文化交流課長へ)

地域の皆様のお陰で、何とか3年間務めることができました。吉敷が今後もより住み良いまちになることを心から願っています。本当にありがとうございました。



小下 由紀子(地域交流センター行政窓口担当から農林整備課へ)

窓口業務や地域行事を通じて吉敷地域のたくさんの方々とお会いし、吉敷のあたたかさを感じました。3年間ありがとうございました。



初期村政の立役者
多々良隼見と野村致知

多々良隼見は、天保四年（一八三三）、吉敷毛利の家臣中尾弥右衛門の次男として吉敷村に生まれ、幼名を勇吉と言った。同家臣の小田孝右衛門の養子となり、暮末に姓名を多々良隼見と改めた。文久三年（一八六三）、服部哲次郎（後の名和道一）の主動で組織された宣徳隊に加盟し活動した。元治元年（一八六四）の「禁門の変」では、服部らの先導で結成された吉敷隊に参加して戦った。

明治維新後、明治一二年に公選の戸長に押されて五年間在勤した。明治一七年には、吉敷村と中尾村合併に向けた連合会議長となり、同二二年、市町村制の実施とともに村会議員、そして五六歳で初代村長になり、村政の基盤を確立することに意を用いた。

明治二六年、村長を辞任してからも村会議員として、村の基本財産の作成、小学校の基本財産蓄積の基礎を定めるなど、その業績は目覚ましいものがあつた。

大正二年、満八〇歳の長寿を全うして逝去した。

野村致知は、弘化三年（一八四

六）、吉敷毛利の家臣、野村勇の次男として吉敷村に生まれ、幼名を弥蔵と言った。

憲章館に学び、一八歳のとき宣徳隊に入り、慶応二年（一八六六）の「四境の役」では、良城隊小隊長として小瀬川口に出陣した。

明治二年、内海忠勝を頼って神戸に出て、時の兵庫県知事、伊藤博文の幹旋で岩倉具視に随行して東京に上った。東京大学南校に入學、中途退学した後、樺太開拓使になったが、短期間で大阪府出仕に転じ、以後、長野・三重・兵庫の各県に勤め、最後は兵庫縣有馬郡長と兵庫縣尋常師範学校校長（兼任）に任じられた。

明治二四年に帰村すると、直ちに村会議員に選ばれ、明治二六年に四七歳で第二代村長となった。

以来、二期八年にわたって村治の改良に尽力した。明治三四年、村長辞任後も村会議員として村治に尽くすとともに、村農会評議員として村の産業発展に寄与した。

明治四四年逝去。享年六五歳。

（吉敷赤田平和生 著）

今月の吉敷人 No. 031

坂本 由香里 さん (50)

防災検討委員会 幹事



吉敷地区防災会に女性の人材が新たに加わりました。地域活動は、山口市消防団本部予防隊への参加がスタートで、子育て中に、消防団の女性隊員からのお誘いを受け、周りのお母さん方からの支援で、幼稚園や学校において、紙芝居等で防災の啓発活動とともに、応急手当指導員としても企業や団体を訪問して指導をされています。

その後、知識を深めるために防災士の資格を取得され、県や市の防災士会での活躍の後、ついに地区防災検討委員会幹事兼地区防災会本部要員として参加していただきました。これで、暇な老人男性の同好会のような地区防災会から一挙に華やかな活動的な会に変身しました。何時起こるかかわからない災害に、住民の誰もが日頃から「自分の身は自分で守る」備えをしてもらえるよう務めていきたいと言われています。

（広報委員：右田）

平成3年山口市転入。上東住宅団地在住。趣味はフラダンスと食べ歩き。日本酒にはまり、美味しい日本酒を求めて出かけることも。（一財）県原爆被害者支援センター「ゆだ苑」事務局長。

今月の吉敷人 No. 029

上田 泰司 さん (55)

地域交流センター 所長



4月より地域交流センター所長に異動して参りました上田です。見てのとおりの顔は怖いですが、「気は優しく力持ち!」の所長として、「吉敷ファースト」で頑張りますので、よろしくお願いいたします!

山口市秋穂生まれ。小郷在住。趣味はドライブとカラオケを少々。

今月の吉敷人 No. 030

松井 美代子 さん (48)

地域交流センター 行政窓口担当



センターの1番バッター行政窓口担当の松井です! 交流センターの守備範囲の広さにひるまず、足を使った大胆なプレーのなかに繊細な頭脳プレーをみせる万能選手としての活躍を目指します!

東京生まれ大阪育ち。湯田在住。阪神タイガースの熱狂的ファンで、推し選手は鳥谷。

子どもたちは地域の宝 「見守り」の輪を広げていきませんか

この時期は、小さくて可愛いらしい新生児が登下校を始めます。

日頃から、交通安全、防犯対策協議会やボランティアの方々が、立哨などに取り組まれるとともに、地域協育ネット「あいさつの日」の取り組みなどを通じて、登校時の見守りは行われています。



「あいさつの日」立哨の様子

下校時にも危険あり 老人クラブも立ち上がる！

こうした中、かねてより、良城小学校から、「下校時にも子どもへの危険がある」という意見がありました。

この小学校からの呼びかけにこたえて、「いざ！地域の宝を見守ろう！」と老人クラブ連合会が立ち上がり、交通安全・防犯対策協議会の方々と連携して、この度、始めて新一年生の下校時の見守り活動が実現しました。

新入学生は登下校が大変
世代を越えたふれあいも

毎年、新生児は、「生懸命通学路を歩いて行きます。中には通学路を間違えてしまふ子どもも。そんな子どもたちを大人が見守ることは、世代を越えたふれあいの場にもなります。

登下校時に合わせて
気軽に見守りしませんか

子どもの見守りは、どなたでも、いつでも気軽にできます。例えば、朝のウォーキングを「登校時間帯」に合わせたり、犬の散歩や夕飯の買い物で「下校時間帯」に合わせたり。何気ない日常も、実は子どもの見守りにつながっています。なお、下校時刻予定表は、全戸配布の「あいさつ＆見守りカレンダー」に掲載しています。

あなたも、こうしたことをちよつとだけ意識して、気軽に子どもの見守りに参加してみませんか。



下校時の見守りの様子

よいき 四方山 ばなし

Vol. 4

「凌雲寺炎上」

天文二十年（一五五二）八月二十九日の夜、陶隆房の謀反で法泉寺を追われた大内義隆は、吉敷を通って長門深川へ逃れることになりました。途中、中尾にある父義興の菩提寺の凌雲寺に立ち寄りしましたが、寺の僧たちは後難を恐れて堅く門を閉ざし、義隆の一行が寺

た義隆をくわえて本堂の天井を走り回り、火の粉を散らしました。数日間続いた天気で濡れた本堂は、たちまち猛火に包まれてしまいました。しかも、寺は高台にあり水利が無く、三百余人もいたという僧もどうすることもできず、あれよあれよという間に天をも焦がす大火となってしまいました。火は七日七夜燃え続き、義興が西ノ京の偉人として誇った凌雲寺は崩れ落ち、巨大な石で組まれた石垣だけが残りしました。土地の人たちは、義隆の靈魂が



凌雲寺跡の石垣

白鼠となって妬みの火を放ったものであると声をひそめて噂したといひます。現在、凌雲寺跡は大内氏遺跡として国の史跡に指定されており、発掘調査が行われています。

内に入るのを拒みました。義隆一行も、敗残の身として、強いて押し入ることもならず、僧たちの所業を妬みつつ、門の隙間から父義興の墓所を拝し、別れを告げて長門深川をめざして落ちて行きました。義隆が、長門深川の大軍寺で自害したという噂が、中尾に達したのはまもなくのことでした。その頃から、凌雲寺の内では、珍しい白鼠が現れるようになり、僧たちを驚かせました。ある夜、その白鼠が、火のつい

シリーズ 地名

「町名の由来(その二)」



維新公園から望む金山

上東(カミヒガシ)・下東(シモヒガシ)は、吉敷川の東側にあたる地域である。平安時代から鎌倉時代にかけて、朝廷の力が弱まると、地方で力のある豪族は、競って荘園と称する無税の私有地を広げていった。この地域に大内氏の一門である間田氏が領有し、東庄と称した。また、江戸時代には、吉敷川の東側はすべて東村といっており、現在の赤田町内の大坪まで含まれていた。この東村は広い地域で、古くから水田が広がっており、水量の少ない北部を「上東」、湿地帯の多い南部を「下東」といって分別した。

木崎(キザキ)は、遠い昔、この付近は海岸で、現在の木崎の金山や秋葉山は「岬」であったと考えられる。サキとは、「海に突き出た山や陸地の先端」のことを表現している。こういう所は、一般的に杵崎社(海上交通や漁業者の守護神を祀る神社)を祀って、船への目印や航行の安全を祈ったと言われる。ここには、戎河内(エビスカワチ)といって、恵比須社を祀っていた所があった。現在、出雲大社山口分院の境内に移動している。遠くは中村区内に含まれていたが、大正時代に入って中村区から分離し木崎区となった。緑ヶ丘(ミドリガオカ)は、古吉山のふもと、小高い土地を切り開いて開発された集落である。地域としては中尾であるが、交通や生活の面から、別の町内会として組織された。背後の山を生かした美しい環境をもとに名付けたものである。

木崎団地(キザキダンチ)・上東住宅団地(カミヒガシジュウタクダンチ)は、住宅不足解消のために、県の開発事業として造られた団地であるので、「木崎」「上東」を冠して、別の町内会として組織された。

(高橋文雄著「長城小学校百年史」等より)

吉敷の福祉・健康

WELFARE AND HEALTH

稲葉町町内会で活動するふれあいいきいきサロン「稲葉あじさいの会」をご紹介します。

「稲葉あじさいの会」

稲葉あじさいの会は、平成18年10月に設立しました。活動日は第2木曜日、12時開始です。みんなでおいしい食事をいただくことから始まります。

得意なことを分担しています

食事は女性スタッフが担当します。11年目にもなると、揚げ物が得意な人、ご飯を炊くのが得意な人、デザートづくりが得意な人など、それぞれの得意分野で活躍するそうです。

取材に伺った日は、きのこご飯、唐揚げ、そばなど5品並びました。



満腹のあとに笑顔あり

食事の後は、お楽しみ会です。

この日は、講師を招いての壁飾りづくり。男性陣はみんな一緒に仲良く取り組み、笑顔いっぱい。素敵な作品が完成しました。

その後、くじ引きも行われ、「犬の置物5匹当たったあ〜。僕は成年生まれなんよ。」と大興奮。実はスタッフの手作りらしいです。

スタッフの女性は「あじさいの会を中心に麻雀や百歳体操などに波及して、みんなが積極的に参加してくれてうれしい」と話してくれました。



【代表者】田村 徳治(稲葉町)

【問い合わせ】☎928-3801(田村宅)

【開催日】第2木曜日

【会場】稲葉ふれあい会館



1 火	
2 水	
3 祝	
4 祝	
5 祝	
6 日	
7 月	
8 火	●老人クラブ連合会総会 10:00～
9 水	●はかり定期検査 10:00～12:00 ●母子相談 13:30～14:30(受付時間) P.2
10 木	●町内会長会 18:30～
11 金	●ふれあい給食会総会 10:00～
12 土	●地域づくり・自治会・社協 総会・代議員会 13:30～ P.2 ●レノファ山口 VS 東京 15:00～(観戦公園)
13 日	●吉敷川・桜の樹広場清掃 8:30～
14 月	●あいさつの日 ●広報委員会 17:00～
15 火	●ベビーマッサージ&カフェ 10:00～11:30 P.2
16 水	
17 木	●ふれあい給食 ●春の花壇講座 19:00～20:00 P.2
18 金	

19 土	●「吉敷さんば」を片手に歴史を学ぼう 9:30～11:30 P.2
20 日	●子ども会東風園ふれあいウォーク 8:30～ P.2
21 月	●吉敷ベタンク同好会練習 8:30～
22 火	●楽楽楽「ミニブーケ作り」 10:00～11:30 P.3
23 水	
24 木	
25 金	●男性料理教室 10:00～12:00 P.3
26 土	
27 日	●地区防災会総会 13:30～
28 月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
29 火	
30 水	
31 木	●環境づくり推進協議会総会 18:00～

6月のおもなイベント

2 土	地区グラウンドゴルフ大会 8:30～
4 月	あいさつの日 ブックスタート体験会 10:00～
14 木	ふれあい給食
29 金	小児救急講座 10:00～

「雑感」

積もった雪 金子みすゞ

上の雪

さむかるな。

つめたい月がさしていて。

下の雪

重かるな。

何百人ものせていて。

中の雪

さみしかるな。

空も地面もみえないで。

時季外れになりますが、今年は厳しい寒さと雪の日が続きました。雪が積もると、金子みすゞのこの優しい心の詩を思い出します。

擬人化した雪(社会の縮図)を、MRI断層写真に映しながら、人々の立場や役割を包含し、「さむかるな、重かるな、さみしかるな」と氣遣っていると感ずるからです。

私たちの吉敷地域も、住み続けたい地域づくりを推進するためには、隣人相互の思いやり(目配り・気配り・心配り)が不可欠と考える昨今です。

私も、いつでもどこかで誰かに支えられながら暮らしていることを忘れず、感謝の念を持ち続けたい。人は誰もいつまでも支える側・健者ではられないのだから。

広報委員 堀越茂

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

